プロフィール



全国各地でショーをしているサイエンスショー/シャボン玉ショー団体。文化庁の芸術家派遣事業で小中学校を回ったり、日野市後援のもと子ども向け科学実験教室を開催したりと子ども・ファミリー層を得意としている。

「学ぶって面白い」をコンセプトに、子どもたちが前のめりになって観れる学習体験を届けている。

安心と専門性を兼ね備えたショー内容

- KAIST（韓国科学技術院）、九州大学の理学博士が監修
- 教育心理学に基づいた演出、東京都公認のエンタメ力

エンタメだけでも、教育だけでも届かない——
「楽しかった」だけじゃなく「覚えてる」、「話したくなる」体験がここに。

▶ PVはこちら

ショーの様子













特徴①　全員参加型ショーで高い満足度



観客全体が参加できるスタイルのため、ただ“見るだけ”で終わらず、一人ひとりが自分事として楽しめるショーです。
自分で考えたり、反応したり、体験しながら進むことで、内容が記憶にも残りやすくなります。
親子参加の場では、実験やリアクションを一緒に楽しむことで自然と会話が生まれ、ショーの時間だけでなく、終演後まで楽しさが続きます。
さらに、マジックやクイズなどのエンターテインメント要素も豊富に盛り込み、学びと楽しさを両立。

子どもはもちろん、大人も一緒に引き込まれ、会場全体の満足度が高まりやすい内容となっています。

特徴②　文科省推進のＳＴＥＡＭ教育



文部科学省が推進するSTEAM教育の考え方にも対応しています。
科学・技術・工学・芸術・数学を横断しながら、子どもたちが自ら考え、試し、発見する学びの時間を提供します。
本ショーは、実験の前に「どうなると思う？」と問いかけることで、子どもたちは受け身ではなく、自分の頭で考える状態で参加できます。

ショーの中では、

予想 ▶ 実験 ▶ 結果 ▶ 解説

という科学の基本サイクルを、楽しみながら自然に体験できる構成になっています。
そのため、勉強が苦手な子や理科にハードルを感じている子でも、「なんで？」「もう一回見たい！」という興味の入口が生まれやすく、学びへの前向きなきっかけづくりにもつながります。

特徴③　充実のコンテンツ



あわラボでは、ショー本編に加えて、イベント内容に合わせて選べる多彩なオプションもご用意しています。

選べる追加コンテンツ

1. **工作ワークショップ**　空気砲体験やスライムづくりなど
2. **記念撮影会**　シャボン玉の中に入って撮影できる

工作ワークショップは、小スペースでも実施しやすく、作品をそのままおみやげとして持ち帰れるのが特長です。そのため、各クラスを順番に回る形式のイベントや、体験型企画にも適しています。
シャボン玉の中に入る撮影会は、記念写真として思い出に残ることに加え、SNSにも活用しやすいと好評な人気オプションとなっています。

具体的な集客力





114名

自主公演「まなマジ」集客

4.7点

アンケート平均（5点満点）

4万人超

SNSフォロワー

自主公演「まなマジ」では114名の集客に成功。SNS告知による集客効果も大きく、ショッピングモール出演の際もファンの方が集まっていただくことが多いです。
東京九州フェリー「それいゆ」での船内イベントでは、旅客定員268名に対し、1回あたり推定56〜67名が来場しており、定員比約21〜25%の参加となりました。アンケート評価も5点満点中で平均4.7点と好評を獲得し、イベントの満足度も高くリピーターとなってくださるお客様も多数獲得してきました。

SNSのフォロワーは4万人越で、企業様のプロモーション案件も実績があります。また、体験会の様子などは写真映えするため、お客様自身が画像付きで感想を発信することも多く、2次拡散が期待できます。
モール出演が決まった際はSNS告知と並行し、地域の野外イベントや、幼稚園・保育園への積極的な出演の他、自主公演の開催等で、声がけによる直接的な集客協力も可能な限り尽力します。